



産官学政界の有識者・論客がゲストあるいはオブザーバーとして参加し、グローバルな視点でエネルギーに関わる研究開発動向や政策およびグリーンサイエンスの今後などを学び議論します。今後のエネルギーに関わる研究や政策及び環境保全に対する課題の設定や解決に資する俯瞰力を養成する科目です。

エネルギー・ ネクスト概論

回	講義者
第1回	オリエンテーション 朝日 透
第2回	錦谷 禎範(先進理工学研究所 教授 / JX日鉱日石エネルギー(株) 研究開発本部・中央技術研究所 エグゼクティブリサーチャー)
第3-4回	有本 建男(政策研究大学院大学 教授 / (独)科学技術振興機構 研究開発戦略センター 副センター長)
第5-6回	永里 善彦(日本経済団体連合会 産業技術委員会 産学官連携推進部会長 / (株)旭リサーチセンター 相談役)
第7-8回	泉 紳一郎((独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センターセンター長)
第9回	オリエンテーション 朝日 透
第10回	猿橋 淳子(経産省産業技術環境局 基準認証国際室長補佐)
第11回	田村 文重(Kaze Corporation代表)
第12回	水間 英城((独)科学技術振興機構 国際科学技術部 参事役 地球規模課題国際協力室長)
第13回	山東 昭子(参議院議員)
第14回	渡辺 美代子((独)科学技術振興機構 研究開発戦略センター(CRDS)フェロー)
第15回	玉澤 徳一郎 元衆議院議員

第5回は「日本の科学技術政策と若手研究者への期待」をテーマとして、前国務大臣・科学技術庁長官、前参議院副議長の山東昭子参議院議員に、ご講義いただきました。国際競争が激化する中で、日本も戦略的な科学技術政策を打ち出してゆくことが今後ますます重要になってくること、そのためには科学者は高い専門性に加え、研究の重要性を国民に伝える社会的な発信力が求められることをお話され、研究を通じて社会への貢献をめざす学生たちにエールをいただきました。ご講義の後は、本プログラム3名の学生(加藤 遼さん、河野 俊介さん、若林 慧さん)が自身の研究の概要とその社会的意義について発表し、山東議員からご講評いただきました。

文部科学大臣がプログラムを視察

プログラム担当者である逢坂哲彌教授が推進する、産学連携による国際科学イノベーション拠点(COI)とCOIストリーム・サテライト・プロジェクトを下村博文 文部科学大臣が視察され、本プログラムについても現状報告をいたしました。状況を十分把握されたご様子で、「イノベーション創出を担う若い世代がここからたくさん巣立っていくことを期待しています。」とのコメントを残されました。



▲山東先生を囲んで